

## 研究課題

以下の文献を読み、その分析に用いられたデータを使って次の分析を行いなさい。

Vijayendra Rao. (1993) “The Rising Price of Husbands: A Hednic Analysis of Dowry Increases in Rural India”, *Journal of Political Economy*, 101(4), pp.666-677.

Lena Edlund.(2000) “The Marriage Squeeze Interpretation of Dowry Inflation: A Comment”, *Journal of Political Economy*, 108(6),pp.1327-1333.

Vijayendra Rao. (2000) “The Marriage Squeeze Interpretation of Dowry Inflation: Response”, *Journal of Political Economy*, 108(6),pp.1334-1335.

- (1) 結婚持参金(Dowry)の決定式を推計せよ。
- (2) プロビット、トービット推計を用いて、花嫁・花婿の就学年数の決定式を推計せよ。
- (3) このデータセットを用いて、追加的なクロスセクション分析を行いなさい(トピックは自由)。

推計においては、その関数型の選択の根拠となる統計テストの結果も含めて報告すること。また、推計結果だけではなく、理論的議論や全体の内容を吟味するような総合的な議論も含めること。

データは経済研究所の北村行伸の個人ホームページの<講義録<比較統計システム論<2001 年度の下にも掲示します(ダウンロードできます)。

提出期限は 7 月 23 日(厳守)。